

大阪公立大学（仮称）杉本理学系学舎整備事業その2

プロポーザル評価基準

1. 評価方法及び基準

(1) 選定委員会の設置

公募型プロポーザル方式を実施するにあたり、専門的見地からの意見を聴くために、学識経験者らで構成する「大阪公立大学（仮称）杉本理学系学舎整備事業その2に関する受託者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置する。選定委員会は、各評価項目について審査及び採点を行う。

(2) 評価方式

本件は、参加者の「技術評価点」と「価格評価点（上限価格の制限の範囲内であるものに限る）」を、下記(3)により算出した数値（以下、「総合評価点」という）により優先交渉権者を決定する公募型プロポーザル方式を採用する。ただし、以下の条件に該当する者を優先交渉権者とすることはできない。

- ・技術提案書の内容が、書類不備等により選定委員会で審査を行うことが難しいと判断された者
- ・募集要項その他本件関係資料に定める失格要件に該当する者

(3) 総合評価点の算出方法

- 1) 総合評価点は、加算方式にて算出する。なお、配点と計算式は次のとおりとする。

$$\text{総合評価点（100点）} = \text{技術評価点（80点）} [\text{※1}] + \text{価格評価点（20点）} [\text{※2}]$$

$$\text{※1 技術評価点} = \text{実績調書による加算点} + \text{技術提案書による加算点}$$

$$\text{※2 価格評価点} = \text{見積提案率} [\text{※3}] \text{に応じて算出される評価点（表3による）}$$

$$\text{※3 見積提案率} = \text{見積提案価格} / \text{提案上限価格} \times 100$$

- 2) 本プロポーザルの評価は、選定委員会が行う。

- 3) 技術提案等に基づき、各評価事項について、審議方式により客観的に評価する。ただし、技術提案について、明らかに実現の可能性が低いと、発注者が判断したものは、評価対象としないものとする。

- 4) 評価は、選定委員会が提案書に基づき評価を行い、最優秀提案者1者、次点提案者1者を選定し、最優秀提案者を優先交渉権者として決定する。

- 5) 提出された提案書は、提案者名を伏し、提案者番号(受付番号)を付し、各委員に配布する。

(4) 審査について

本件では、以下のとおり審査を行う。

- 1) 参加資格審査により適格と確認された参加者の技術提案内容を、表1に示す[実績調書における評価基準項目・加算点]及び表2に示す[技術提案書における評価基準項目・加算点]に準じて、選定委員会にて審査する。なお、プレゼンテーション・ヒアリングを行う。
- 2) プレゼンテーション・ヒアリングへは参加者からは設計を担当する管理技術者または意匠主任技術者、施工を担当する現場代理人または総合代理人または監理技術者を含む5名まで参加することができる。
- 3) プレゼンテーション・ヒアリングについての日程、その他の詳細は別途通知する。
- 4) 「実績調書による加算点」の算出は、参加申請において提出した実績調書を基に評価項目毎に表1により加算点を算出し選定委員会にて委員の承認を受ける。

- 5) 「技術提案書による加算点」の算出は、評価項目毎に表 2 により算出された各委員の点数の
平均値（少数点第 3 位以下を切り捨て）とする。
- 6) 価格評価点の算出は、表 3 により事務局が審査し、その結果を選定委員会に報告する。
- 7) 上記 4) ～ 6) において承認及び審査された評価に基づき加算点を算出の後、(3) の計算式に
よって総合評価点を算出する。
- 8) 優先交渉権者は提案価格が事業費上限額以下である者のうち、総合評価点の最も高い者とする。
総合評価点が高点の場合は、技術評価点が高い提案者を上位とする。なお、技術評価点も同点
であった場合には、くじにて優先交渉権者を決定する。ただし、優先交渉権者となるべき者と
契約することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認
められるときは、その者を優先交渉権者とせず、次順位者を優先交渉権者とする。
- 9) 総合評価点が高点の 5 割に満たない場合は、優先交渉権者として選定しない。

評価基準

表1 実績調書における評価基準項目・加算点

評価項目		評 価 基 準		配点	加算点
企業実績	施工実績	平成20年4月1日以降の施工実績	同種又は類似施設の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工実績を有するもの ※同種又は類似施設とは、国交省告示第98号別添2「類型八 専門的教育・研究施設の第2類に該当する大学（実験施設等を有するもの）、専門学校（実験施設等を有するもの）、研究所等」とする。	2.0	/2.0
			大学の用途の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工実績を有するもの（参加資格要件）	—	
	設計実績	平成20年4月1日以降の実施設計実績	同種又は類似施設の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工実績を有するもの ※同種又は類似施設とは、国交省告示第98号別添2「類型八 専門的教育・研究施設の第2類に該当する大学（実験施設等を有するもの）、専門学校（実験施設等を有するもの）、研究所等」とする。	2.0	/2.0
			大学の用途の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の実施設計実績を有するもの（参加資格要件）	—	
配置予定監理技術者（施工）の実績	施工実績 ※複数の者を届出の場合は、加算点が最も小さいものを評価対象とする	平成20年4月1日以降に従事した施工実績	同種又は類似施設の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工に監理技術者もしくは主任技術者として従事した実績を有するもの ※同種又は類似施設とは、国交省告示第98号別添2「類型八 専門的教育・研究施設の第2類に該当する大学（実験施設等を有するもの）、専門学校（実験施設等を有するもの）、研究所等」とする。	3.0	/3.0
			大学の用途の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工に従事した実績を有するもの（参加資格要件）	—	
配置予定管理技術者（設計）の実績	実施設計実績 ※複数の者を届出の場合は、加算点が最も小さいものを評価対象とする	平成20年4月1日以降に従事した実施設計実績	同種又は類似施設の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の実施設計に管理技術者もしくは主任技術者として従事した実績を有するもの ※同種又は類似施設とは、国交省告示第98号別添2「類型八 専門的教育・研究施設の第2類に該当する大学（実験施設等を有するもの）、専門学校（実験施設等を有するもの）、研究所等」とする。	3.0	/3.0
			大学の用途の新築、増築、改築、又は改修で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の実施設計に従事した実績を有するもの（参加資格要件）	—	
					/10.0

※企業実績の施工実績については大阪府建設工事一般競争入札（特定調達）参加資格者名簿に登録された本店または支店のものに限らず、同一企業の本店または支店のものであれば他の都道府県での実績についてこれを認める。

表2 技術提案書における評価基準項目・加算点

	評価項目	提案を求める内容(提案項目)	評価基準	配点	加算点
技術提案を求める項目	A) 業務全体の取組方針・体制に関する提案	<p>本事業は、多年度にわたる複数棟の改修工事の設計及び施工を並行して実施するものである。複数の建物に対するそれぞれの関係者との合意形成、情報共有などを図りながら、効率的・効果的にプロジェクトを進めることが望まれる。</p> <p>上記を踏まえ、各棟の設計、施工、移転を着実かつ円滑に実行するための効果的な取組方針及び体制を具体的に4つまで提案すること。</p> <p>① 本業務全体の実施方針 設計から施工まで含めた事業の実施体制及び意思決定者や設計、施工の役割分担など具体的な取組方針</p> <p>② 本事業の全体工程計画と事業期間を確実に遵守するための設計・施工の工程管理手法</p> <p>③ 長期にわたる業務における具体的なコストコントロール手法</p> <p>④ 自由提案</p>	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	8.0	/8.0
			3つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0	
			2つの提案項目が効果的で実現性が高い	4.0	
			1つの提案項目が効果的で実現性が高い	2.0	
			全て上記に該当しない	0.0	
	B) 設計・工事監理の取組方針・体制に関する提案	<p>本事業は、先行して基本設計者による基本設計が完了しており、この基本設計を基として実施設計を行う事となる。実施設計に際して、教職員との合意形成、情報共有などを図りながら、効率的・効果的に進めることが望まれる。</p> <p>上記を踏まえ、実施設計業務においてよりよい実施設計とするための、実施、実現できる効果的な取組方針及び体制を具体的に4つまで提案すること。</p> <p>① 実施設計段階でよりよい設計とする取組方針</p> <p>② 最新の設計技術を活用した取組方針</p> <p>③ 設計施工における実行的な工事監理の取組方針、体制、工夫</p> <p>④ 自由提案</p>	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	8.0	/8.0
			3つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0	
			2つの提案項目が効果的で実現性が高い	4.0	
			1つの提案項目が効果的で実現性が高い	2.0	
			全て上記に該当しない	0.0	
	C) 設計に関する提案	<p>本事業は、既存施設の有効利活用を図りながら、大阪公立大学における理学分野の教育研究活動の拠点としてふさわしい環境性能の整備が求められる。</p> <p>要求水準書、基本設計図書等を理解した上で、設計の計画について実施、実現できる効果的な取組を具体的に4つまで提案すること。</p> <p>① 建築計画： 合理的かつ経済的な取組方針、工夫</p> <p>② 電気設備計画： 合理的かつ経済的な取組方針、工夫</p> <p>③ 機械設備計画： 合理的かつ経済的な取組方針、工夫</p> <p>④ 自由提案</p>	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	12.0	/12.0
			3つの提案項目が効果的で実現性が高い	9.0	
			2つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0	
			1つの提案項目が効果的で実現性が高い	3.0	
			全て上記に該当しない	0.0	

技術提案を求める項目	技術提案書	D) 施工に関する提案	施工業務について実施、実現できる効果的な取組を具体的に6つまで提案すること。	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	18.0	/18.0		
			① 別途発注する実験機器や家具等の什器備品の新設、移設などの付帯工事を発注者が円滑に実施するための本工事での着眼点・工夫点	5つの提案項目が効果的で実現性が高い	15.0			
			② 安全を確保しながら本工事を確実に行う施工計画及び工事ステップに関する提案	4つの提案項目が効果的で実現性が高い	12.0			
			③ 居ながら工事における粉塵・振動・騒音等の配慮や建物への動線等、学生や教職員の利便性確保に関する提案	3つの提案項目が効果的で実現性が高い	9.0			
			④ 施工品質を確保するための方策及び確認に関する提案	2つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0			
			⑤ 施工段階でのコスト増加を抑制できるコストコントロール方法	1つの提案項目が効果的で実現性が高い	3.0			
			⑥ 自由提案	全て上記に該当しない	0.0			
		E) 施工後の維持管理等に関する提案	施工後の維持管理等について実施、実現できる効果的な取組を具体的に4つまで提案すること。	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	12.0	/12.0		
			① 維持管理のしやすさに関する提案	3つの提案項目が効果的で実現性が高い	9.0			
			② アフターフォロー体制に関する提案	2つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0			
			③ ランニングコストの低減に関する提案	1つの提案項目が効果的で実現性が高い	3.0			
			④ 自由提案	全て上記に該当しない	0.0			
		F) 社会の要請に応える大学施設環境の整備に関する提案	既存建物の老朽化、陳腐化した設備の更新など、社会の要請に応える大学施設環境の整備に関する提案として実施、実現できる効果的な取組を具体的に4つまで提案すること。	全ての提案項目が効果的で実現性が高い	12.0	/12.0		
			① カーボンニュートラルへの配慮事項 (例:省エネルギーへの取り組みなど)	3つの提案項目が効果的で実現性が高い	9.0			
			② SDGsに配慮した取り組み方針 (例:バリアフリーやダイバーシティへの配慮など)	2つの提案項目が効果的で実現性が高い	6.0			
				1つの提案項目が効果的で実現性が高い	3.0			
			※①、②合わせて4つまで提案できるものとする。	全て上記に該当しない	0.0			
								/70.0

表3 見積提案率に応じた評価点

価格 評価点	評価項目	評価点 y
	見積提案率 ≤ 90% 見積提案率が 90% 以下の場合は満点として一定とする。	20
	90% < 見積提案率 ≤ 100% における評価点 見積提案率が 100% と 90% を通る直線式により算出される 以下の y の値を価格採点とする。 価格評価点算定式 $y = b \times (1 - x / a) + 5$ x: 見積提案率 - 90%、y: 価格評価点 a: 10%、b: 15	19.9 ~ 5.0
	見積提案率が 100% を超える場合は無効となる。	0.0

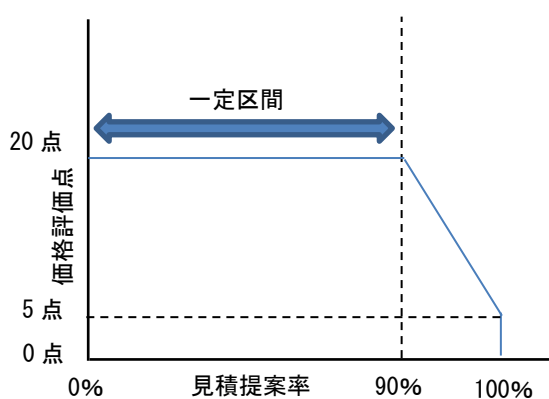
※価格は消費税及び地方消費税額を含む

※見積提案率及び価格評価点は、小数点以下第 2 位を切り捨てする。

価格評価点のイメージは下記の通り

(例) 見積提案率 96.0% の場合

$x = 96.0 - 90.0\%$ 、 $a = 10\%$ 、 $b = 15$ 点より、 $y = \{15 \times (1 - 6.0/10)\} + 5 = 11.0$ 点



見積提案率(%)	採点
90.0	20.0
91.0	18.5
92.0	17.0
93.0	15.5
94.0	14.0
95.0	12.5
96.0	11.0
97.0	9.5
98.0	8.0
99.0	6.5
100.0	5.0